学校だより　No.　７

ここが大好き

【学校教育目標】
夢にむかって　今　キラリ
－なかよく・かしこく・すこやかに－
令和８年５月１５日
大仙市立南外小学校

理解を深め、育ちに生かす
園　小　連　携

１２日（火）、つきの木こども園より先生方が２名来校し、１年生の学習の様子を参観されました。入学してから１か月が経ち、担任の話をよく聞いて学習する、成長した子どもたちの姿を、安心した様子で見てくださいました。

今回の訪問は、子どもたちの様子を確認することもありますが、園と小学校の相互理解を深めるための取組でもあります。今年度から本格的に「架け橋プログラム」の下で、連携が行われ、今後、様々な機会を通じて話合いを重ね、相互の教育目標や目指す子ども像等を理解し合って、園から小学校への円滑な接続に向けて協力していくことになります。子どもの成長にとって、小学校はゼロからのスタートではありません。園での生活で培った様々な力を生かし、学習意欲や主体的に活動に取り組む姿につなげていきたいと考えています。

縦割り清掃スタート
責任と協力の輪を

縦割り清掃が１１日（月）から始まりました。１年生も上級生に習って、ここから本格的に清掃活動を始めることになります。この日はグループごとに掃除の仕方を確認し、順調にスタートを切ることができました。このあと縦割り班ごとに、校内のあちらこちらを順繰りに清掃することになります。場所ごとの適切な清掃の仕方はもちろん、縦の人間関係、思いやりと尊敬の念など、この機会を利用して、触れさせたいと思います。

税の必要生を考える
６年　租税教室

６年生は社会科で、税についての学習をしました。この学習の一環として、８日（金）に大曲税務署の方が来校し、「租税教室」を行いました。子ども達の生活の中で関わりのある税金として「消費税」がありますが、他にはどんな税があり、どんなところに使われているのか、税金は何のためにあるのか、という課題をもち、学習を進めました。

まず始めに世界の税金についてのクイズに挑戦しました。「ポテトチップス税」「犬税」「渋滞税」実際にある税金は？答えは「全部」でした。そして、日本の税金は何種類か？答えは「50種類」。これらのクイズは子ども達とって、とても新鮮で意外性と驚きをもったようです。

学校で生活している中で、様々なことが税金で準備されていることも初めて知りました。教科書や机、本、そして学校そのものも税金が使われていることを教えていただきました。学習の振り返りでは「身近のものが税金でできていることを初めて知った。」「税金がないと大変な社会になると分かった。」など、たくさんの感想発表がありました。

最後に全員が１億円の見本を持たせてもらい、約１０kgある重さに驚きながら、大満足の時間を過ごしました。